

総括監督員	主任監督員	監督員

令和02年度

工事番号 12345678

工事名 サンプル工事

舗装工

出来形管理図表

	基準高EL1	深さh2
種 目	基準高EL2	深さh3
	基準高EL3	
	厚さt1	
	厚さt2	
	厚さt3	
	幅B	
	深さh1	

会社名 ワイズ建設

現場代理人 ワイズ太郎



注1) 出来形管理図表は、本表紙様式により、工種ごとに綴るものとする。ただし、小規模工事については、監督職員の承認を得て、全工種を一括綴りとする事ができる。

注2) 工種は、盛土(築提工)、路床工、路盤工、側溝工、コンクリート法覆工等とし、種目は、厚・幅・基準高、3m平たん性等と記入する。

サンプル工事

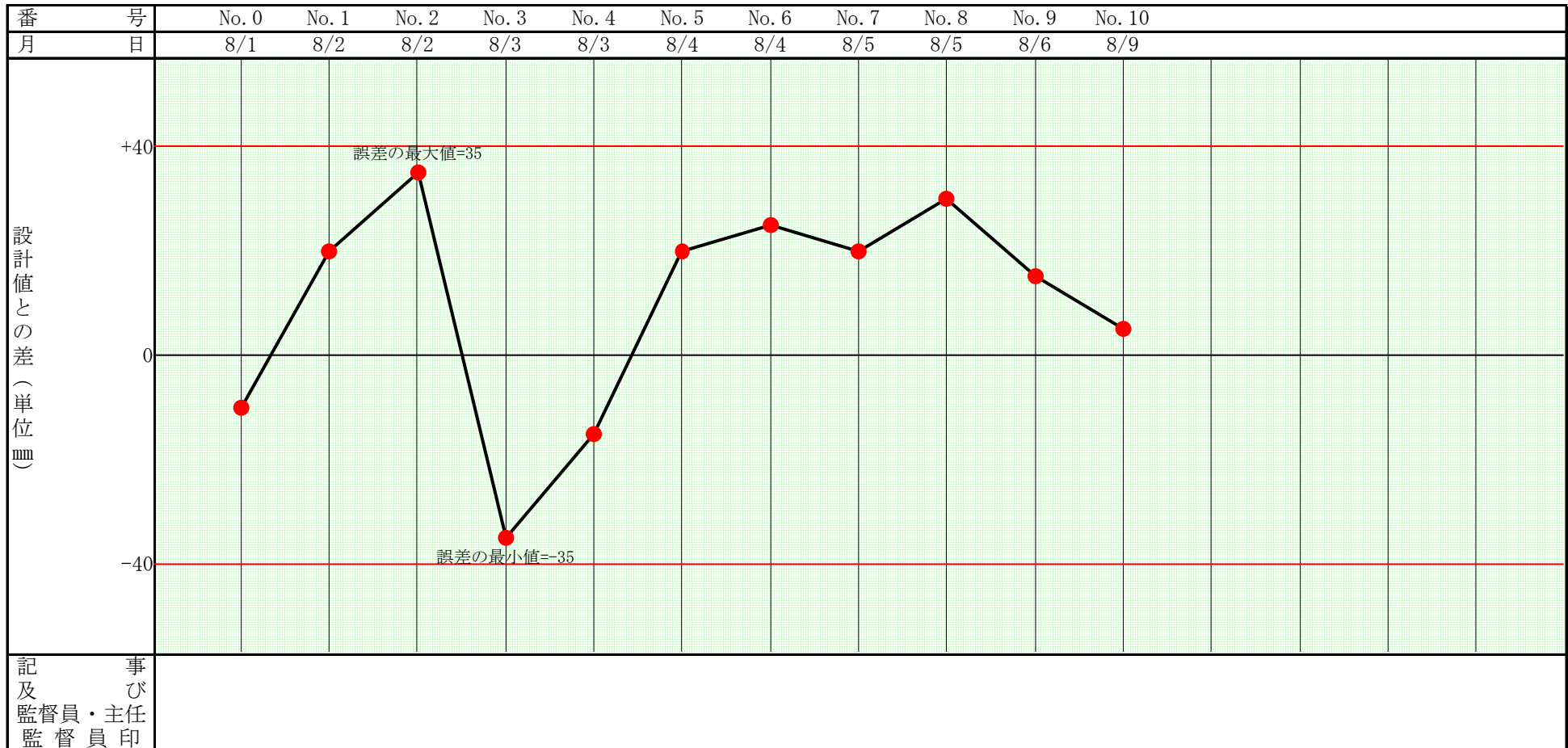
舗装工

基準高EL1

管理図表

-40~+40(-20~+20) mm

測定者 ワイズ太郎



1. 工種名は、土工、路盤工、側溝工、法覆工、法留工等と記入する。
2. 標題は、厚管理図表、標高管理図表、3 m平たん性管理図表等と記入する。
3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向って順序に記入しておく。
4. 月日は、測定の際、該当測量番号にあたるものを記入する。

5. 設計値と実測値の単位を定め、目盛に数値を記入する。
6. 図表には規格値の線を朱書で記入する。
7. 記事は、手直の処置等を記入承諾印を押す。

測定結果表

請負者 ワイズ建設

現場代理人 ワイズ太郎

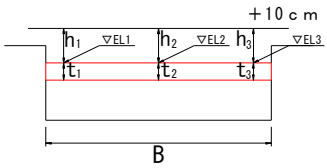
工種 舗装工

細別 上層路盤

測定者 ワイズ太郎

単位：mm

測定項目	基準高 EL1				基準高 EL2				基準高 EL3				厚さ t1				略 図
	規格値				-40～+40				-40～+40				-25～				
社内規格値				-20～+20				-20～+20				-13～					
測点又は区別	設計値	実測値	差	検査値	設計値	実測値	差	検査値	設計値	実測値	差	検査値	設計値	実測値	差	検査値	
No. 0	100.000	99.990	-0.010		100.000	99.990	-0.010		100.000	99.990	-0.010		20	21	1		
No. 1	110.000	110.020	0.020		110.000	110.020	0.020		110.000	110.020	0.020		20	22	2		
No. 2	120.000	120.035	0.035		120.000	120.035	0.035		120.000	120.035	0.035		20	24	4		
No. 3	130.000	129.965	-0.035		130.000	129.965	-0.035		130.000	129.965	-0.035		20	32	12		
No. 4	140.000	139.985	-0.015		140.000	139.985	-0.015		140.000	139.985	-0.015		20	23	3		
No. 5	150.000	150.020	0.020		150.000	150.020	0.020		150.000	150.020	0.020		20	18	-2		
No. 6	160.000	160.025	0.025		160.000	160.025	0.025		160.000	160.025	0.025		20	27	7		
No. 7	170.000	170.020	0.020		170.000	170.020	0.020		170.000	170.020	0.020		20	31	11		
No. 8	180.000	180.030	0.030		180.000	180.030	0.030		180.000	180.030	0.030		20	26	6		
No. 9	190.000	190.015	0.015		190.000	190.015	0.015		190.000	190.015	0.015		20	24	4		
No. 10	200.000	200.005	0.005		200.000	200.005	0.005		200.000	200.005	0.005		20	38	18		



注) 基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する。